

2024/12/16

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(12月9日~12月13日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,426.0	1,438.3	1,425.5	1,433.0	+13.8
JPY/KRW	9.5073	9.5983	9.3587	9.3733	▲0.094
KOSPI	2,392.37	2,500.32	2,360.18	2,494.46	+66.30

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。週初のドル/ウォンは1,426.0ウォンでオープン。前週末に尹大統領の弾劾訴追案が不成立となったことで政情不安が長期化する懸念からウォン安が進行。尹大統領の内乱罪容疑での取り調べの可能性といったヘッドラインが飛び交う中、ウォン売りが拡大し、ドル/ウォンは1,438.3ウォンの高値をつけた。その後当局者からの為替市場への口先介入が散見され、10日にチェ副首相兼企画財政部長官は「最近の金融・為替市場の動きは韓国経済のファンダメンタルズと比較してやや過剰な部分がある」と発言した。ウォン相場は一時的に1,420ウォン台半ばまで強含む場面が見られたものの、野党が2回目の弾劾訴追案を国会に提出するなどの動きから依然として先行きは不透明であり、週後半にかけてウォン相場は緩やかに下落。結局、ドル/ウォンは前日比+13.8ウォンの1,433.0ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォンはやや上値重い推移を予想。週末14日に二度目の弾劾訴追案が可決されたことで、尹大統領は職務停止になり、今後は憲法裁判所の審判に委ねることとなった。今回訴追案が可決されたことで、政治空白状態が一段長期化する懸念が後退したことで短期的にウォンは強含む場面が想定される。今週はFOMCや日銀会合を控える。FOMCでは25bpの利下げが確実視されるものの、今後の政策見通し次第でドルが強含む場面も想定され、注意したい。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1410 ~ 1440	9.15 ~ 9.45	151.0 ~ 155.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 16日(月) 米 12月 製造業PMI 速報値
- 欧 12月 製造業PMI 速報値
- 欧 12月 サービス業PMI 速報値
- 米 12月 サービス業PMI 速報値
- 中 11月 小売売上高
- 中 11月 鉱工業生産
- 米 12月 NY連銀製造業指数
- 日 10月 機械受注 確定値
- 17日(火) 米 11月 小売売上高
- 米 11月 鉱工業生産
- 18日(水) 米 11月 住宅着工件数
- 欧 11月 CPI 確報値
- 日 11月 貿易統計
- 米 FOMC 政策金利発表
- 19日(木) 米 12月 失業保険新規申請者数
- 米 11月 中古住宅販売件数
- 米 3Q GDP 確定値
- 20日(金) 米 12月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
- 日 11月 CPI
- 米 11月 個人所得
- 米 11月 個人消費

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。